

2011年3月期 連結決算及び事業概要

株式会社マルハニチロホールディングス
代表取締役社長 久代 敏男

平成23年6月10日

1 連 結 決 算 の 概 要

2 事業環境と中期経営計画（DW21）

3 事業トピックス

4 通期予想と新中期経営計画に関して

1-1. 連結損益計算書



(単位:億円)

	11年3月期	10年3月期	前期比
売上高	8,234	8,287	△ 53
売上原価	7,109	7,204	△ 96
売上総利益	1,125	1,083	43
販売費・一般管理費	951	975	△ 24
営業利益	174	108	67
営業外収益	31	37	△ 6
営業外費用	54	67	△ 13
経常利益	151	78	73
特別利益	10	19	△ 8
特別損失	108	24	84
税金等調整前当期純利益	53	72	△ 19
法人税等	10	46	△ 36
少数株主利益	6	10	△ 3
当期純利益	36	16	20

株式会社マルハニチロホールディングス

-2-

1-2. ユニット別損益表



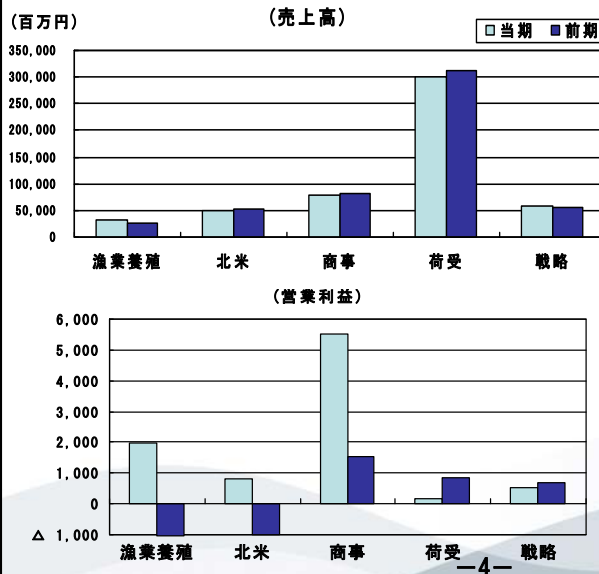
(単位:億円)

	売上高			営業利益		
	11年3月実績	10年3月実績	増減	11年3月実績	10年3月実績	増減
漁業・養殖ユニット	327	268	59	20	△ 10	30
北米ユニット	509	524	△ 15	8	△ 10	18
水産商事ユニット	794	804	△ 10	55	15	40
荷受ユニット	3,009	3,120	△ 111	2	9	△ 7
戦略販売ユニット	572	547	26	5	7	△ 2
水産セグメント計	5,212	5,263	△ 51	90	10	80
冷凍食品ユニット	1,175	1,161	14	47	60	△ 13
加工食品ユニット	748	773	△ 25	26	30	△ 4
畜産ユニット	455	413	43	13	0	13
化成品ユニット	136	134	3	13	13	0
アジア・オセアニアユニット	276	267	9	5	19	△ 13
食品セグメント計	2,791	2,747	43	104	122	△ 18
保管・物流セグメント計	143	150	△ 7	7	13	△ 5
その他セグメント計	88	127	△ 38	9	0	8
全社セグメント計				△ 36	△ 37	1
合計	8,234	8,287	△ 53	174	108	67

株式会社マルハニチロホールディングス

-3-

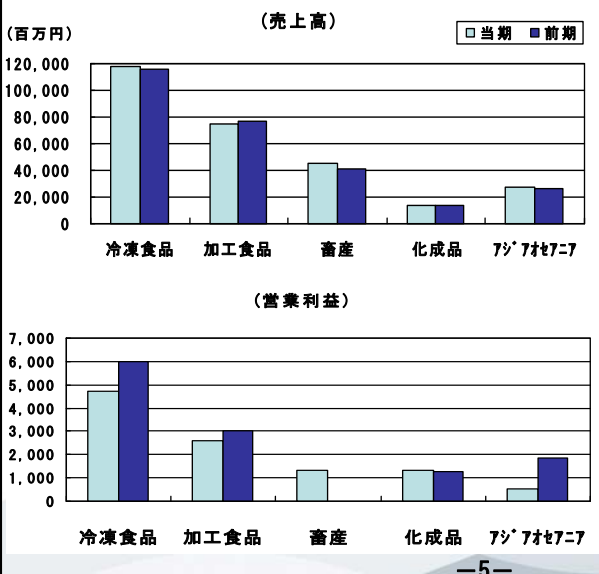
1-3. ユニット別損益(水産SEG)



(水産セグメント)

- ・漁業養殖ユニット
養殖マグロの販売数量増加、
養殖魚全般の相場上昇
マグロ・カツオの不漁
- ・北米ユニット
国内すりみ市況の改善
- ・水産商事ユニット
市況は全般的に堅調に推移、
輸入マグロの棚卸評価損解消
- ・荷受ユニット
市場内流通の販売不振、取扱数量減少
- ・戦略販売ユニット
量販・生協向けの販売堅調も、仕入コスト上昇

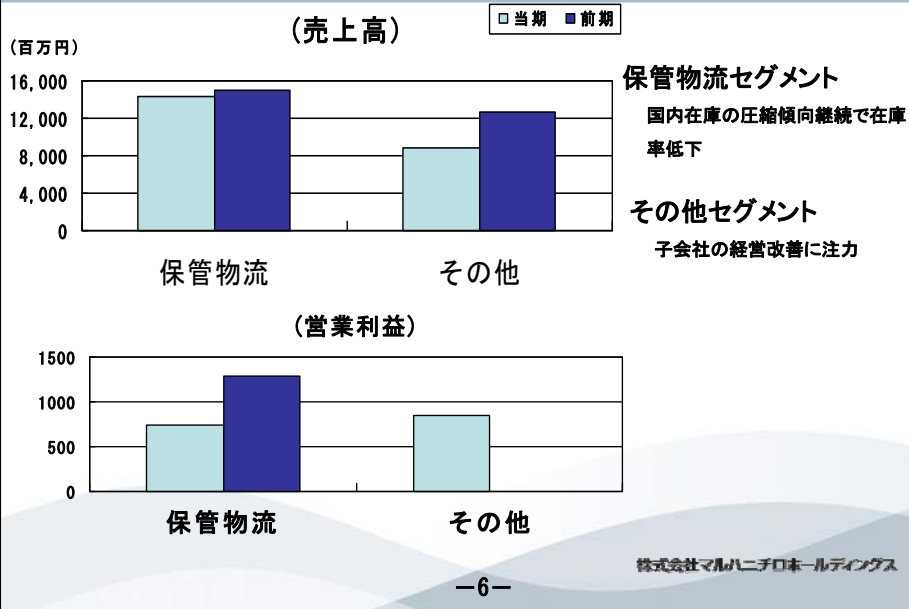
1-4. ユニット別業績(食品SEG)



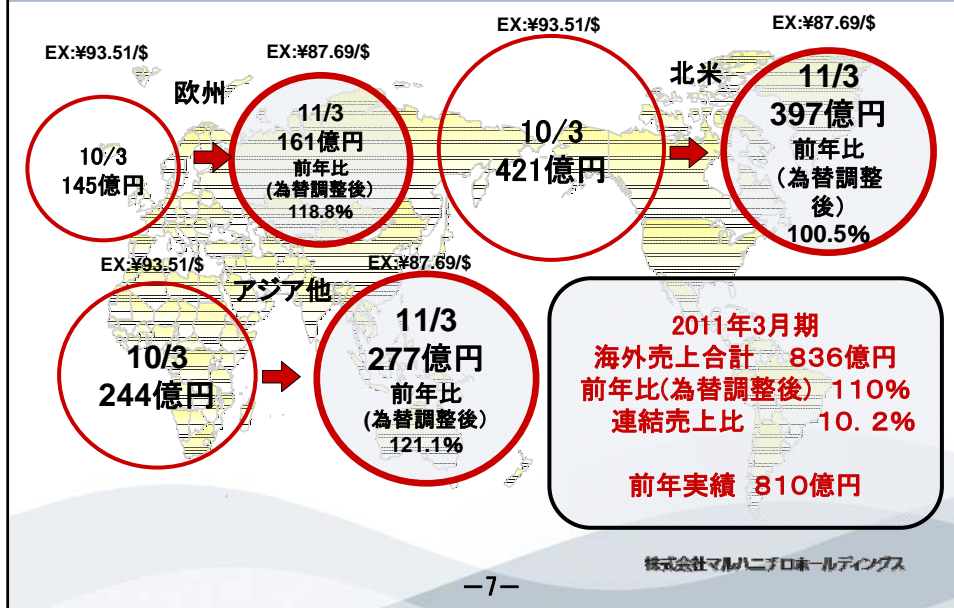
(食品セグメント)

- ・冷凍食品ユニット
原料値上げによるコスト増
外食向けの販売低迷
- ・加工食品ユニット
ギフト向けの缶詰や魚肉ハムソーなど
販売不振も、猛暑効果などにより
デザート商材が好調に推移
- ・畜産ユニット
輸入ホークの取扱増加や輸入鶏肉
棚卸評価損解消
- ・化成品ユニット
雑炊、カップ麺向けFD商材が順調に
推移
- ・アジアオセアニアユニット
ツナ、エビ等の原料価格上昇や
パーツ高で収支悪化

1-5. ユニット別業績(保管物流SEG 他)



1-6. 海外売上高



1-7. 連結貸借対照表



(単位:億円)

	11年3月末	10年3月末	増減		11年3月末	10年3月末	増減
流動資産	2,389	2,520	△ 131	負債	4,026	4,219	△ 193
				(うち有利子負債)	2,988	3,147	△ 159
固定資産	2,354	2,494	△ 140	純資産	717	794	△ 77
資産合計	4,743	5,014	△ 271	負債純資産合計	4,743	5,014	△ 271

11年3月末の自己資本比率は
12.4 %

株式会社マルハニチロホールディングス

2-1. 事業環境と中期経営計画(DW21)



水産・
食品業界

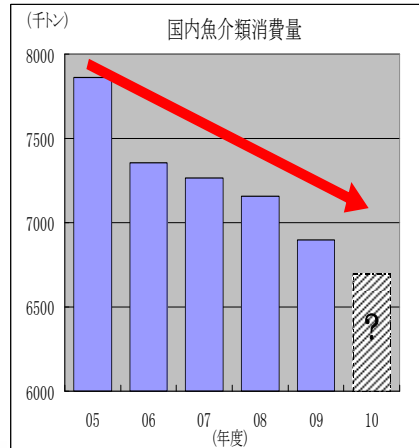
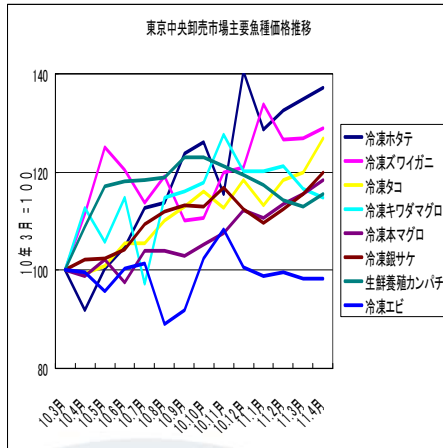
デフレ進行による個人消費の低迷
厳しい経営環境

中期三カ年経営計画

「ダブルウェーブ21」目標達成に注力

マルハとニチロの経営統合効果の追求

2-2. 事業環境と中期経営計画(DW21)



株式会社マルハニチロホールディングス

2-3. DW21期間実績推移



(連結ベース)

	ダブルウェーブ21			
	2008年度実績	2009年度実績	2010年度実績	2010年度計画(DW21)
売上高	8,975億円	8,287億円	8,234億円	当初 10,000億円 修正 8,500億円
営業利益	155億円	108億円	174億円	当初 240億円 修正 180億円
ROA(営業利益)	3.0%	2.1%	3.7%	当初 4.6% 修正 3.7%
自己資本比率	12.3%	13.1%	12.4%	当初 15.7% 修正 13.9%
有利子負債残高	3,336億円	3,147億円	2,988億円	2,999億円

株式会社マルハニチロホールディングス

2-4. 事業環境と中期経営計画(震災)



東日本大震災

マルハニチログループへの影響

八戸地区

石巻地区

仙台地区

宇都宮地区

甚大な被害が発生



株式会社マルハニチロホールディングス

2-5. 事業環境と中期経営計画(震災)



地域	所在地	会社名/事業所	事業	被災状況
青森県	八戸市	大洋冷蔵㈱	水産加工品製造	製造設備冠水
宮城県	石巻市	㈱マルハニチロ食品 石巻工場	冷凍食品製造	一部の工場建屋を除き 全壊状態
	石巻市	大洋エーアンドエフ㈱ 石巻工場	食品(調味料)製造	一部の工場建屋を除き 全壊状態
	塩竈市	㈱マルハニチロ物流 関東支社塩釜物流センター	保管物流	機械設備一部損壊
	仙台市 宮城野区	㈱マルハニチロ食品 仙台工場	乾燥食品、冷凍食品、 練製品製造	一部の工場建屋を除き 倒壊状態
	仙台市 宮城野区	㈱マルハニチロ食品 東北支社	販売拠点	事務所の倒壊
	仙台市 宮城野区	㈱東北サービス	倉庫・運送業	倉庫の損壊
栃木県	宇都宮市	㈱マルハニチロ食品 宇都宮工場(化成食品)	化成食品製造	天井および外壁の落下

株式会社マルハニチロホールディングス

2-6. 震災(特別損失)



(単位:百万円)

	固定資産の被害	棚卸資産の被害	その他	計
MN食品石巻	837	390	82	1,309
MN食品仙台	636	79	77	792
TAFCO石巻	239	183	18	440
MN食品化成	350	34	6	390
その他	398	869	79	1,346
計	2,460	1,555	262	4,277

株式会社マルハニチロホールディングス

2-7. 震災復旧計画



会社名/事業所	主要商品	生産移管工場	生産開始時期
(株)マルハニチロ食品 石巻工場	冷凍食品 (白身タルタル類)	グループ会社	5月下旬
	冷凍食品 (イカ天ぷら類)	(株)マルハニチロ食品 広島工場	5月中旬
	冷凍食品 (ソースカツ類)	グループ会社	6月下旬
	冷凍食品(その他)	(石巻第3・第4工場)	8月上旬
(株)マルハニチロ食品 仙台工場	練製品(ちくわ類)	(仙台工場)	5月中旬
	冷凍食品(春巻き類)	グループ会社	7月上旬
	乾燥食品(FD類)	グループ会社	6月下旬
(株)マルハニチロ食品 宇都宮工場(化成食品)	化成品(DHA類)	(宇都宮工場)	6月下旬
	化成品 (コンドロイチン類)	(宇都宮工場)	上期中
	化成品 (ヒアルロン酸類)	(宇都宮工場)	今期中

株式会社マルハニチロホールディングス

3-1. 水産セグメント



養殖分野

- 串本設立
- 8カ所9漁場
- 4000トン規模の出荷体制に



株式会社マルハニチロホールディングス

-16-

3-2. 食品セグメント①



冷凍食品分野

- 林兼デリカ買収
(熊本県)
- 市販用、業務用冷凍食品生産設備強化



株式会社マルハニチロホールディングス

-17-

3-3. 食品セグメント②



東日本 物流センター

- 2011年1月、新倉庫竣工
- 2階建て
- 総床面積1,600坪



3-4. 食品セグメント③



化成品事業



- フィッシュコラーゲン
- DNA
- 高度精製魚油
DHA・EPA



宇都宮化成品工場の増設

3-5. 事業構造の効率化



北米子会社の統合

～ プレミアパシフィックとシュプリームアラスカの統合

新潟フレッシュデリカと湘南フレッシュデリカの統合

～ 統合新会社「デリカウェブ社」発足

ニチロサンパック工場の整理・効率化

～ 山形工場を閉鎖し、生産体制を効率化

ニチロ工業の売却

～ ノンコア事業で収益性の低い子会社の整理

新洋商事と北州食品の統合

～ 統合新会社「MNリテールサービス社」発足

株式会社マルハニチロホールディングス

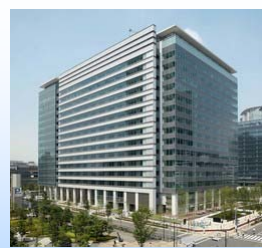
—20—

3-6. 本社移転



本社移転

- ・マルハニチロホールディングス
- ・マルハニチロ水産
- ・マルハニチロ食品(関東支社含む)
- ・マルハニチロ畜産
- ・マルハニチロマネジメント
- ・アクリフーズ



2011年2月、6社総勢1,200名が豊洲新社屋へ

業務効率向上

株式会社マルハニチロホールディングス

—21—

4-1. 2012年3月期 業績予想



	12年3月期計画 (億円)	
	中間期	通期
売上高	3,980	8,250
営業利益	63	140
経常利益	54	115
当期純利益	20	40

株式会社マルハニチロホールディングス

4-2. 2012年3月期ユニット別計画(通期)



単位：億円

	売上高			営業利益		
	12年3月計画	11年3月実績	増減	12年3月計画	11年3月実績	増減
漁業・養殖ユニット	331	327	4	13	20	△6
北米ユニット	510	509	1	9	8	1
水産商事ユニット	811	794	17	28	55	△28
荷受ユニット	2,982	3,009	△27	7	2	5
戦略販売ユニット	586	572	13	5	5	△1
水産セグメント計	5,219	5,212	7	62	90	△28
冷凍食品ユニット	1,180	1,175	5	31	47	△16
加工食品ユニット	762	748	14	32	26	6
畜産ユニット	457	455	2	13	13	0
化成品ユニット	136	136	0	9	13	△4
アジア・オセアニアユニット	276	276	0	9	5	4
食品セグメント計	2,812	2,791	21	93	104	△11
保管・物流セグメント計	147	143	5	12	7	5
その他セグメント計	71	88	△17	11	9	3
全社セグメント計			0	△38	△36	△2
合計	8,250	8,234	16	140	174	△34

株式会社マルハニチロホールディングス

4-3. 新中期経営計画に関して



平成23年
4月
スタート

中期三カ年経営計画
「ダブルウェーブ21」の終了

次期中期三カ年経営計画の策定

東日本大震災
の影響

電力不足

風評被害

影響の見極めが困難

株式会社マルハニチロホールディングス

-24-

4-4. 新中期経営計画に関して



1

グループ各社の
経営体質の強化

▶ 改善策を策定し、グループ全体の
収益構造を底上げ

2

財務体質の強化

▶ 在庫の圧縮など資金の効率化に努め、
自己資本比率を改善

3

コンプライアンス
の徹底

▶ コンプライアンスの徹底と環境への
配慮で、企業の社会的責任を遂行

4

成長戦略の策定

▶ 海外市場を鍵としたM&A案件への
取り組み

株式会社マルハニチロホールディングス

-25-

4-5. 新中期経営計画に関して



平成23年度
スタート

震災からの復興を折り込んで
中期三カ年経営計画を策定・遂行

今年度業績見通しを踏まえ、本年度中に
2012、2013年度目標を設定

水産・食品業界において確固たる存在
世界になくはない企業集団に

株式会社マルハニチロホールディングス

-26-

(補)2012年3月期ユニット別計画(2Q)



単位：億円

	売上高			営業利益		
	12年3月期 2Q計画	11年3月期 2Q実績	増減	12年3月期 2Q計画	11年3月期 2Q実績	増減
漁業・養殖ユニット	156	151	5	6	1	6
北米ユニット	236	251	△15	6	4	2
水産商事ユニット	376	398	△22	13	29	△16
荷受ユニット	1,435	1,454	△18	1	△3	4
戦略販売ユニット	276	281	△5	2	2	0
水産セグメント計	2,480	2,535	△55	28	32	△5
冷凍食品ユニット	564	576	△11	12	24	△12
加工食品ユニット	394	395	0	18	18	0
畜産ユニット	227	227	0	6	7	△1
化成品ユニット	66	68	△1	4	6	△2
アジア・オセアニアユニット	138	127	11	4	4	0
食品セグメント計	1,391	1,392	△1	44	60	△15
保管・物流セグメント計	73	71	2	4	3	1
その他セグメント計	36	55	△19	6	5	1
全社セグメント計			0	△20	△18	△2
合計	3,980	4,052	△72	63	82	△19

株式会社マルハニチロホールディングス

-27-

当資料に記載されております計画や見通し、戦略など歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点で入手できる情報から得られた判断に基づいております。実際の業績は様々な重要要素により、これらの見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。また、本資料の著作権やその他本書類にかかる一切の権利は株式会社マルハニチロホールディングスに属します

世界に美味しいしあわせを



MARUHA NICHIRO